

医学研究科 高次脳科学講座（基礎・社会医学系） 教授

令和8年5月15日

職 種	教授
募集人員	1名
勤務場所	京都大学大学院医学研究科高次脳科学講座 (所在地：京都市左京区吉田近衛町) (変更の範囲) 大学が在宅勤務を許可または命じた場合は自宅等
職務内容	システム神経科学の教育と研究 候補者には、脳をシステムとして捉える視点に基づき、その動作原理と機能の解明を大きく発展させる研究を期待する。国内外のシステム神経科学研究を牽引し、その発展に貢献しうる研究者が望ましい。教育については、医学部医学科における生理学あるいは神経科学の講義・実習の一部を担当することを求める。 (変更の範囲) 京都大学の業務（教育・研究・運営）
資格等	博士の学位を取得していること
採用日	採用決定後できるだけ早い時期
任 期	なし
試用期間	あり（6ヶ月）
勤務形態	専門業務型裁量労働制（1日7時間45分相当、週38時間45分相当） 専門業務型裁量労働制を適用しない場合は、週5日、8:30～17:15勤務（休憩 12:00～13:00） 超過勤務を命じる場合あり 休日：土・日曜日、祝日、年末年始および創立記念日
給与・手当等	本学支給基準に基づき支給
社会保険	文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険および労災保険に加入
応募方法	以下の応募書類をPDFファイルにし、「提出先・問い合わせ先」に記載のメールアドレスへメールで送付すること。 1. 履歴書 2. 研究業績目録 3. 主な科学研究費等の採択状況（代表者・分担者を明記） 4. 研究（業績）の概要と抱負（A4版2枚以内） 5. 教育実績と抱負 6. 主な論文別刷（10編以内） 1.～5. はひとつのPDFファイルにまとめ、6. は論文ごとのPDFファイルにしてください。 推薦状がある場合は、推薦者からメールで送付してください。 (注) 提出書類記載要項 1. 履歴書はA4版、横書きで記載のこと。 (1) 氏名（ふりがな）、性別、生年月日、満年齢、本籍（都道府県のみ）、改姓年月日（旧姓）、現住所、郵便番号、現職名、連絡方法を記載のこと。 (2) 学歴、免許、学位 (3) 職歴（外国出張等も記載のこと） (4) 賞罰 (5) その他（社会における活動など）

	<p>2. 研究業績目録 論文における文献の記載要領に準じて次の事項に留意すること。</p> <p>(1) 著者名（全員論文記載の順により本人のところにアンダーラインをする）、 標題名、雑誌名 巻頁（始と終わりを示す）、発行年、単行本の場合は上記に 準じ、編者、発行所名などを含めること。</p> <p>(2) 用紙は、A4判を縦にし、横書き、番号を付してシングルスペースで記すこと。</p> <p>(3) 原著（和文・欧文別、年代順）、総説（和文・欧文別、年代順）、その他の順により、また、別刷を添付したものには○印を付すること。</p> <p>3. 主な科学研究費等の採択状況 科学研究費及びその他の助成金の種類、課題名、代表・分担を区別して年度順に記載すること。</p> <p>4. 研究（業績）概要と抱負 A4判2枚程度で記載すること。図を用いても良い。</p> <p>5. 教育実績と抱負 A4判2枚程度で記載すること。図を用いても良い。</p> <p>6. いずれの書類もA4判を縦にし、横書きで作成すること。パソコン等により作成すること。提出書類の1～5に頁番号を付すること（全体を通して）。</p> <p>なお、Researchmapの情報が適切に更新されている場合、履歴書、研究業績目録、研究費に関する情報をResearchmapへの参照で代えることも可とします。</p>
<p>応募締め切り</p>	<p>令和8年7月14日（火）必着</p>
<p>提出先・ 問い合わせ先</p>	<p>京都大学医学研究科総務企画課人事掛</p> <p>E-mail : jinjiigaku@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp (*を@に変えてください)</p> <p>TEL : 075-753-4304</p> <p>タイトルを「高次脳科学講座教授応募書類」とし、応募書類（PDFファイル）を添付したメールをお送りください。</p> <p>添付ファイルのサイズが大きい場合には、ファイル共有サービス等を用いてご提出頂いても結構です。</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・選考過程及び採否の理由については一切お答えいたしかねます。 ・提出していただいた書類は、採用審査にのみ使用します。正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。 ・京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待しています。出産、育児、介護等で研究を中断していた期間については、内容や期間を十分に考慮した上で審査を行います。 ・京都大学では、すべてのキャンパスにおいて、屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場合を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。